

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【公表番号】特表2006-524734(P2006-524734A)

【公表日】平成18年11月2日 (2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2006-506173(P2006-506173)

【国際特許分類】

C 1 0 M 173/00 (2006.01)

C 1 0 M 169/04 (2006.01)

C 1 0 M 137/04 (2006.01)

C 1 0 M 137/02 (2006.01)

C 1 0 M 137/12 (2006.01)

C 1 0 M 135/06 (2006.01)

C 1 0 M 135/20 (2006.01)

C 1 0 N 20/00 (2006.01)

C 1 0 N 30/06 (2006.01)

C 1 0 N 40/04 (2006.01)

C 1 0 N 40/08 (2006.01)

C 1 0 N 40/12 (2006.01)

C 1 0 N 40/22 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 M 173/00

C 1 0 M 169/04

C 1 0 M 137/04

C 1 0 M 137/02

C 1 0 M 137/12

C 1 0 M 135/06

C 1 0 M 135/20

C 1 0 N 20:00 Z

C 1 0 N 30:06

C 1 0 N 40:04

C 1 0 N 40:08

C 1 0 N 40:12

C 1 0 N 40:22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年9月6日 (2010.9.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

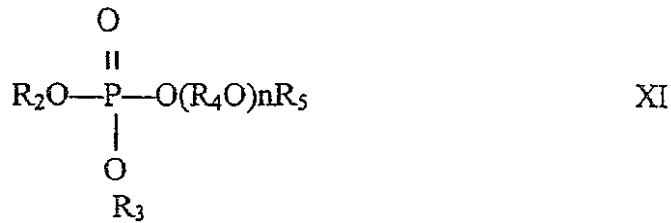
【請求項 1】

高耐荷重性油のための潤滑剤組成物であって、

(a) 次の一般式に相当する化合物から選択される中性アルキル燐化合物；

・ 中性ジアルキルアルコキシアルキル燐酸エステル

【化 1】



(式中、 R_2 及び R_3 は、同じか又は異なり、1～18個の炭素原子を有するアルキル基であり、 R_4 は、 $-\text{C}_2\text{H}_4$ 又は C_3H_8 であり、 R_5 は、同じか又は異なり、1～8個の炭素原子を有するアルキル基であり、及び n は 1～6 である。)

及び

(b) 硫化合物エステル、硫化植物性油脂、金属スルホン酸塩及びジアルキルポリスルフィドからなる群の一種以上から選択される、活性又は不活性硫黄を含有する硫黄キャリアー、

を含む上記潤滑剤組成物。

【請求項 2】

中性アルキル燐化合物及び硫黄キャリアーを、1：50～1：1のP対S含有量の重量比で用いる、請求項1に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 3】

中性アルキル燐化合物及び硫黄キャリアーを、1：50～1：1のP対S含有量の重量比で用いる、請求項2に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 4】

中性アルキル燐化合物及び硫黄キャリアーを、1：1～1：30のP対S含有量の重量比で用いる、請求項2に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 5】

燐化合物が、燐酸トリイソブチル、燐酸トリ n -ブチル、燐酸トリイソプロピル、燐酸トリオクチル、燐酸トリ-2-エチルヘキシル、燐酸トリブトキシエチル、及び燐酸ブトキシエチルジオクチルの一種以上から選択される、請求項1～4のいずれか1項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 6】

硫黄キャリアーが、硫化脂肪酸エステル、ジアルキルペンタスルフィド、又はそれらの混合物である、請求項1～5のいずれか1項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 7】

請求項1～6のいずれか1項に記載の潤滑剤組成物を含有する高耐荷重性油。

【請求項 8】

金属加工用流体、ギアオイル、極圧タービンオイル、又は油圧オイルである、請求項7に記載の高耐荷重性油。

【請求項 9】

(a) 請求項1～6のいずれか1項に記載の潤滑剤組成物を有効量含む金属加工用流体と金属加工片を接触すること、及び(b)前記金属加工片を加工することを含む金属加工方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0023】

硫黄キャリアーは、硫化脂肪酸エステル、ジアルキルペンタスルフィド、又はそれらの混合物であるのが好ましい。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

好ましい硫黄キャリアーは、硫化合物エステル、硫化炭化水素（例えば、硫化オレフィン）、硫化植物性油脂、金属スルホン酸塩、金属ジアルキルジチオリン酸塩、及びチオリン酸トリアリールの少なくとも一種類から選択される。